

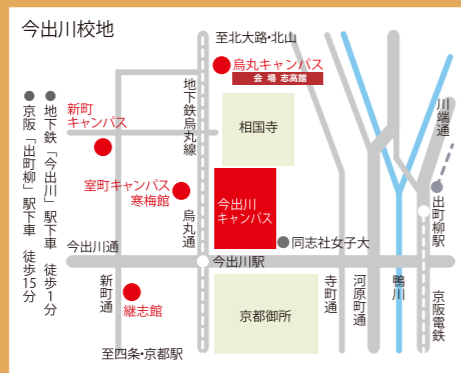


参加費(1日だけでも2日通しも)

- 政策情報センター会員議員・・・5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議)・・・1万円
- 首長・・・5,000円(協賛費)
- 町村議(会員、非会員問わず)・・・3,000円
- 一般/研究者・・・1,000円(1日のみ参加500円)
- 学生・・・無料(予約申込が必要)

参加申込み
締切り
7月末

新型コロナウイルス感染症への対応でウェブセミナーになる場合は、参加費については改めて連絡します。



しこうかん
同志社大学 烏丸キャンパス 志高館
京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL 075-251-3120(代表・広報課)

参加のお申し込み、お問い合わせは



http://www.greens.gr.jp/jouhou/index.html

〒700-0971岡山市北区野田5-8-11かつらぎ野田ビル2F
自治体議員政策情報センター・虹とみどり
電話086-244-7723 Fax086-244-7724
jichitaigiin.jouhou@gmail.com

8/24 月曜日 8/25 火曜日

参加申込み
締切り
7月末

同志社大学志高館

コロナ危機そして気候危機、二つの危機を自治体から考える

基調講演

「自治体は危機にどう向かい合うか」

室崎益輝さん 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長 神戸大学名誉教授

「コロナ後の社会を展望する」

谷崎テトラさん 京都芸術大学客員教授 メディアプロデューサー

分科会

I-1 「気候変動 国際交渉の進展状況と自治体での取り組み」
伊与田昌慶さん(気候ネットワーク主任研究員)

I-2 「緊急時の自治体、そして議会」
新川達郎さん(同志社大学教授)
福岡浩彦さん(中央学院大学教授・元我孫子市長)

I-3 「子ども優先のまちづくり、気候変動対策
ユニークな兵庫県明石市政の挑戦」
講師 明石市と調整中

II-1 「環境教育×自治体政策」
広瀬和代さん(気候ネットワーク環境教育事業部長)
丸谷さとこさん(環境教育コーディネーター、日本環境教育学会副会長、明石市議会議員)

II-2 「リニアと生活交通網 公共交通の在り方を考える」
講師 調整中

II-3 「森友問題から問う公文書のあり方」
木村真さん(大阪府豊中市議)
三木由希子さん(情報公開クリアリングハウス理事長)

第12回 全国政策研究集会 2020 京都

8/24 月曜日 受付 12:30~

挨拶

12:50~

上原公子さん (元国立市長、自治体議員政策情報センター長)

東京都国立市は地域防災計画に感染症を追加し、危機管理の対象としていました。当時の市長であり、情報センター長の上原公子より冒頭挨拶を行います。



上原公子

基調講演

13:00~14:30

自治体は危機にどう向かい合うか

室崎益輝さん (兵庫県立大大学院減災復興政策研究科長 神戸大学名誉教授)

地域防災計画・国土強靱化計画と自治体は地震、台風などの風水害に備えてきました。気候危機を間近に控え、風水害などの自然災害への対応はますます重要になってきます。また2020年に世界中に蔓延した「感染症」に対しても一部の自治体は計画を策定していたものの、一般的に事態の進展に対して後手に回ったと思われます。自然災害、感染症など危機に備え、自治体自身の被災の可能性も含めてリスクを予測し、対応策を講じることが自治体に求められています。二つの危機にどう向き合うのか。1995年の阪神淡路大震災時にご自身も被災され、危機管理研究の第一人者である室崎益輝さんからお話をうかがいます。



室崎益輝

14:30~16:00

コロナ後の社会を展望する

谷崎テトラさん (京都芸術大学客員教授 メディアプロデューサー)

コロナ危機と気候危機は環境破壊、世界レベルの経済がもたらした災禍といえます。しかし、この危機をきっかけにして社会を転換して持続可能な社会をつくるチャンスとも言えます。自治体議員が持つべきコロナ後の社会展望についてメディア&音楽プロデューサーである谷崎さんにお話していただきます。



谷崎テトラ

分科会

16:15~18:15

気候変動 国際交渉の進展状況と自治体での取り組み

伊与田昌慶(いよだ まさよし)さん (認定NPO法人気候ネットワーク主任研究員)

世界各地での自然破壊や気候変動による環境変化によって、未知の病原菌などが流行する可能性が指摘されてきました。次の社会像を描くため、地球環境の現状と国際的な気候変動交渉の進展状況、京都市を中心とした地方自治体での取り組みについて考えます。



伊与田昌慶

分科会

16:15~18:15

緊急時の自治体、そして議会

新川達郎さん (同志社大学教授) 福嶋浩彦さん (中央学院大学教授・元我孫子市長)

新型コロナ対応では、自分で考え市民に責任を持つ自治体なのか、指示待ち自治体なのか見えてきました。議会の役割も改めて問われています。自治体議会のあり方を研究してきたお二人から問題提起をいただき、議会版業務継続計画 (BCP) を含め、地震・風水害・感染症などの緊急時における課題を議論します。



新川達郎



福嶋浩彦

分科会

16:15~18:15

子ども優先のまちづくり、気候変動対策 ユニークな兵庫県明石市政の挑戦

講師 明石市と調整中

兵庫県明石市は子どもを核とした街づくりで人口増・税収増を実現、福祉に手厚い施策で全国事例にたびたび取り上げられます。気候変動問題でも「気候非常事態宣言」を2020年3月に宣言。そんな先進的取り組みを聞きます。

コロナ危機そして気候危機、二つの危機を自治体から考える

新型コロナウイルス感染症のまん延で2020年は世界も日本も経験したことのない社会情勢が続いています。コロナ危機に加え、世界は地球温暖化の加速により気候危機を迎えています。いずれも世界レベルの環境破壊が原因であり、危機は弱い立場の人々の生活に打撃を与えています。痛みを和らげつつ、二つの危機を社会構造を変えるきっかけにできるか。COP3(気候変動枠組条約)で京都議定書が採択されてから23年後の京都から自治体でできる政策・活動を考えます。

8/25 火曜日 受付 9:00~

分科会

9:30~12:00

環境教育×自治体政策

広瀬和代さん (認定NPO法人気候ネットワーク環境教育事業部長) 丸谷さとこさん (環境教育コーディネーター、日本環境教育学会副会長、明石市議会議員)

京都市から始まった環境教育プログラム「こどもエコライフチャレンジ」や兵庫県が全公立小学校3年生を対象に展開する「環境体験事業」について、現場で関わる講師から生の声をお聞きし、自治体政策としての環境教育のあり方を考えます。



広瀬和代



丸谷さとこ

分科会

9:30~12:00

リニアと生活交通網 公共交通の在り方を考える

講師 調整中

東京・名古屋・大阪を新技術・500キロスピードのリニア新幹線で結ぶメガポリス構想。60年かけて全国に張り巡らされた250キロスピードの新幹線が生み出した東京一極集中構造。一方で地方都市間の鉄道は衰退し失われる生活交通網。スピード、経済、生活から公共交通の在り方を考える

分科会

9:30~12:00

森友問題から問う公文書のあり方

木村真さん (大阪府豊中市議) 三木由希子さん (NPO法人情報公開クリアリングハウス理事長)

もりかけ問題から桜を観る会、と政府の公文書改ざん、隠ぺいが横行しています。公文書は国民の財産であり、民主主義の根幹にかかわるものです。森友問題のきっかけになった公文書開示を裁判に訴え勝訴した木村さんからお話をお聞きし、改めて公文書は何かを問います。



木村真



三木由希子

オプションツアーも盛りだくさん!

高浜原発(福井県高浜町)

関電の金銭受領問題で揺れる福井原発を視察。福井県は多くの原子力発電所をかかえ、関西圏の電力供給をまかなってきました。その高浜原発を巡る「関電金銭受領問題」はまだ闇の中です。福井県の原発や周辺施設を間近で見て現地の方の話を聞くツアーです。

※関西電力の方針、コロナウイルス対応により施設見学の内容は流動的です。原発内立ち入りの際には身分証明書の事前提示が必要です。

8/23 日 集合 9:30(京都駅) 解散 17:00(京都駅)

参加費 7,000円 昼食付 見学先によって価格変動します
定員 25名
申込締切 7月末まで 予定のほっきりしない方もお申込は期日まで

京都散策：観光都市京都のまち壊しの現場を見る。

日本で一番規制の強い条例があるにも関わらず、観光優先のために、世界遺産周辺などで、ホテルや高級マンション建設が進み、まちの混雑、土地の高騰で若者が流失し始めています。その実態を視察し、現地の方たちからも話をお聞きます。

8/25 火 集合 13:00(会場ロビー) 解散 16:30(京都駅) 昼食は各自でお取りください。

参加費 4,000円 定員 25名
申込締切 8月17日(土)まで 予定のほっきりしない方もお申込は期日まで